

「経済小説」研究会

代表 吉田光

(先端総合学術研究科 2回生)

目的

本研究会の意義は、「経済小説を輪読することで日本近代社会像を描き直す」という目的に集約される。この課題について、以下の具体的な課題に合わせて取り組むことで達成することを目指す。すなわち、「経済小説の題材と内容を精読すること」、「社会課題がいかにか描かれてきたのかを、その社会課題についての研究の蓄積を踏まえ検討すること」、「各研究会メンバーが有機的に学びを深め、研究成果をメンバー全体のものとして発表すること」、等である。

活動内容

各参加者が毎月、複数回開催される読書会・勉強会に参加し、相互学習をおこなう。

本年度は『下町ロケット』や『トヨタミの野望』等を取り上げた。

それぞれ、経済活動への着目、歴史への関心、表象の読み解き、といったテーマを設定し、議論をおこなった。

年間の研究会実施回数は8回



成果

本研究会は、各発表の準備に小説を読んだり資料を用意したりと、研究会実施ができるか不安があったが、準備が丹念におこなわれる分、各回の議論の密度はそうとうに濃く、充実した研究会の開催ができた。

成果の研究と直接の関係が見えづらいメンバーも存在したが、それがかえって、様々な視点からの活発な議論に繋がった。